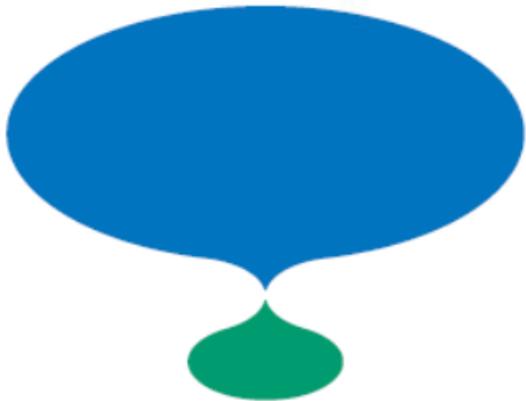
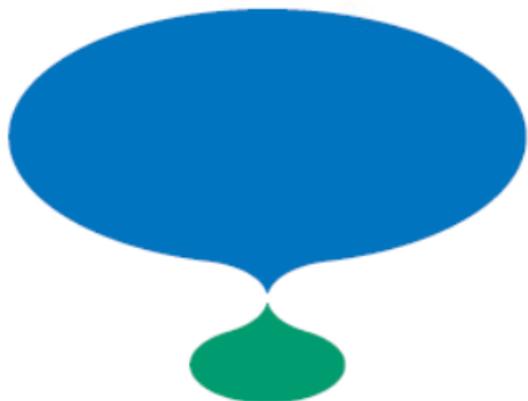


# 令和2年度第1回 湖南省環境審議会資料



湖南省総務部生活環境課

# 第二次湖南省環境基本計画について



湖南省総務部生活環境課

# 第二次湖南省環境基本計画について

## 第二次湖南省環境基本計画の概要

**第二次**  
**湖南省環境基本計画**  
〈概要版〉

湖南省の目指す環境未来像  
～野洲川の清流 山々の景色 歴史が育むうつくし湖南～

【第二次湖南省環境基本計画】は、様々な社会情勢や本市を取り巻く環境面の課題に対応し、持続可能な社会と地域循環共生圏の実現を目指すために策定するものです。  
計画には湖南省が目指す環境未来像の実現に向けて、市民・事業者・行政が進める取組を載せています。

計画の対象期間  
令和元(2019)年度～令和10(2028)年度

令和元年(2019年)10月  
湖南省

こちらのQRコードからでも計画を閲覧できます

令和元年策定 ➡ 令和5年見直し

### 基本目標

- ・人と自然が共生するまち
- ・安全・安心にくらせるまち
- ・心豊かなくらしと文化を育むまち
- ・低炭素・循環型のまち
- ・こなんの未来を育む人・地球づくり



## 3つの『重点プロジェクト』に取り組む

湖南省HP > 市政情報 > 計画・施策 > 総合計画(分野別) > 環境・エネルギー・ごみ > 第二次湖南省環境基本計画

[www.city.shiga-konan.lg.jp/shisei/keikaku/2/bunya2/11919.html](http://www.city.shiga-konan.lg.jp/shisei/keikaku/2/bunya2/11919.html)

# 第二次湖南省環境基本計画について

一人ひとりが野洲川の清流や山々の景色、歴史など様々な本市の宝（地域資源）の魅力を再認識し、大切に守り育むことで、地域循環共生圏の実現を図るとともに、未来を担う子ども達に本市のうつくしい環境を受け継いでいくことを目指します。

## 4. 施策の体系

本計画の環境未来像実現に向けた施策の体系は次のとおりです。

【環境未来像】

【基本目標】

【施策の方向性】

【施策】



第2章

12

# 第二次湖南省環境基本計画について

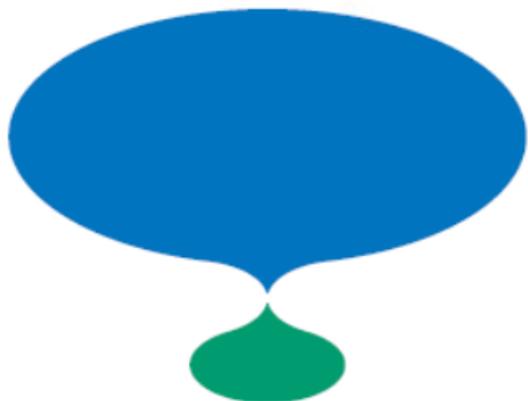
	重点1 うつくしこなんプロジェクト	重点2 エコシティこなんプロジェクト	重点3 こなんの魅力発見！発信！プロジェクト
ねらい	<p>ごみの少ないうつくしいこなんを目指すため、リサイクル活動や環境美化を通じて、市内から排出される廃棄物の削減や資源の地域内循環を目指します。</p>	<p>再生可能エネルギーの導入や市民一人ひとりのエコ活動など、湖南省らしさを活かした地球温暖化対策の普及や低炭素社会の構築を目指します。</p>	<p>多様な地域資源をツーリズムとして活用することで、本市の魅力を再発見したり、地域資源の保全・活用、地域循環共生圏の実現を目指します。</p>
方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス削減を推進します</li> <li>・資源の有効活用を推進します</li> <li>・環境美化を推進します</li> <li>・うつくしこなん実現に向けた情報発信を推進します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの普及を推進します</li> <li>・市民・事業者のエコ活動を推進します</li> <li>・地球温暖化対策を担う人材の育成を推進します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツーリズム普及拡大に向けた体制の構築を図ります</li> <li>・地域資源を活かしたツーリズムを推進します</li> <li>・学校などと連携した環境学習やインターンシップなどを推進します</li> <li>・ツーリズムに携わる人材の育成・活用を推進します</li> </ul>

# 第二次湖南省環境基本計画について

## 指標一覧

指標	現況値 (H30)	現況値 (R元)	目標値 (R10)	備考	担当課
環境保全型農業直接支払交付金事業*対象生産面積の割合	51%	57%	51%	市内農業振興地(青地)のうち環境保全型農業(水稲+大豆)に取り組む面積	農林保全課
アンケート項目「森や川など自然が豊かである」の満足度	28.3%	—	35%	アンケート設問「森や川など自然が豊かである」について「満足である」と回答した人の割合	生活環境課
アンケート項目「自然を体験する活動への参加」の参加割合	28.7%	—	35%	アンケート設問「ウォーキングや野外キャンプなど自然を体験する活動への参加」について「ある」と回答した人の割合	商工観光労政課
環境保全協定*の締結事業所数	151事業/ 204事業所	151事業所/ 204事業所	175事業所/ 204事業所	環境保全協定*の締結事業所数	生活環境課
不法投棄回収量	14.3t/ (16,328t)	14.3t/ (16,116t)	13.0t/ (16,479t)	不法投棄の年間回収量 現況値及び目標値の( )の数値はごみ総収集量を示す	生活環境課
アンケート項目「道路などにごみが投げ捨てられていない」の満足度	9.8%	—	20.0%	アンケート設問「道路などにごみが投げ捨てられていない」について「満足である」と回答した人の割合	生活環境課
野洲川親水公園魅力向上プロジェクトの参加人数	157人/年	166人/年	200人/年	野洲川親水公園魅力向上プロジェクトに参加した人数	都市政策課
歴史・文化財講座などへの参加人数	244人/年	101	250人/年	文化財講座の参加者数	生涯学習課
観光ボランティアガイド参加人数	19人(H30)	17人	25人(R10)	湖南省観光ボランティアガイド「あゆむ」の会のガイド人数	商工観光労政課
1人1日あたりのごみ排出量 (総量、家庭系のみ)	825g/人・日(総) 507g/人・日(家)	801g/人・日 (総) 533g/人・日 (家)	846g/人・日(総) 466g/人・日(家)		生活環境課
ここびあ来場者数	186,920人	163,534人	200,000人	H31.4月～R2.1月集計	産業立地企画室
アンケート項目「再生可能エネルギー*機器を設置している」の割合	17%	—	25%	アンケート設問「再生可能エネルギー*機器を設置している(太陽光発電やペレットストーブ*、薪ストーブ)」について「いつもしている」と回答した人の割合	生活環境課 地域創生推進課
市内小中学校の環境学習の延べ参加人数	8,106人	8,137人	8,972人		学校教育課
環境ボランティアの宣言者人数	30人	30人	50人		生活環境課
企業などとの連携事業の実施件数	8件/年	8件/年	10件/年	環境に関する事業のうち、企業や大学と連携しているものの件数	生活環境課

# 生活環境保全の取組について



湖南省総務部生活環境課

# ■ 生活環境保全の取組について

## 湖南省生活環境保全条例

### 【生活環境影響事業の事前協議】

第19条 生活環境影響事業を行おうとするものは、当該事業の実施の際に環境に配慮する事項に関し、市長と協議しなければならない。

生活環境影響事業	
店舗・病院等	床面積1,000㎡以上
工場等	床面積100㎡以上 敷地面積300㎡以上
給油取扱所	政令に規定するもの
飲食店等 動物飼育施設	敷地面積、飼育頭数 等により該当
市長が影響が大きいと認める事業	



必要な手続き	
市への事前相談	条例第17条
住民への事前周知 市への報告	条例第18条 規則第4条
市への事前協議	条例第19条 規則第5条～9条

# ■ 生活環境保全の取組について

## 湖南省生活環境保全条例

### 【環境保全協定】

第42条 市長は生活環境保全のため必要があると認めるときは、環境保全に関する協定を締結することができる。

#### 環境保全協定締結事業所数

151社

内

#### 上乗せ規制等の締結事業所数

大気	水質	騒音	振動	悪臭
7社	21社	17社	3社	40社

# ■ 生活環境保全の取組について

## 工場立入調査について(滋賀県事業)

### 【令和元年度湖南市工場立入調査の指導状況】

業種	指導の内容等	対応等
製造業17社	騒音・振動規制法に基づく届出に関する指導	代表者氏名、特定施設の数等の変更届出を後日提出

令和元年度は17事業所で実施

# ■ 生活環境保全の取組について

## 公害・苦情の対応について

### 【所管行政機関】

区分	公害・苦情	所管行政機関
大気	大気汚染 等	県)環境事務所
水質	事業所排水、油漏れ、水質汚濁 等	県)環境事務所
騒音	工場設備、作業音等への苦情 等	市)生活環境課
振動		市)生活環境課
悪臭	悪臭物質濃度、事業所排気の臭気、塗装等の臭気の苦情 等	市)生活環境課

# 生活環境保全の取組について

## 公害・苦情の対応について

### 【令和元年度の市の対応状況】

苦情内容	大気・粉じん	水質汚濁	油の流出	騒音	悪臭	野外焼却	合計
R1 件数	1 (1)	4 (1)	1 (1)	1 (1)	6 (1)	11 (3)	24 (8)
H30 件数	3 (2)	1 (1)	7 (3)	6 (3)	4 (0)	22 (5)	43 (14)

( )内は事業所による案件

# ■ 生活環境保全の取組について

## 環境調査について

### 【令和元年度環境調査実施状況】

調査種別	調査概要
大気・臭気環境調査	大気の概況調査、工場排ガス調査
水質調査	河川水質の概況調査、工場・事業所排水の水質調査等
ダイオキシン類調査	市内廃棄物処理関連施設のダイオキシン類濃度調査
環境放射測定調査	環境放射線レベルの調査